

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO464 2020.9.10
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

検索

9月定例会一般質問

党議員団の一般質問は、9月8日に終わりました。

市財政の先行きに不安

かけのまち子

新型コロナの検査、医療強化を

みわ 陽子

約40億円の新体育館につづき、約43億円の布袋駅東複合公共施設、新ごみ処理施設など大型事業続きの上、一斉に老朽化が進行する公共施設の保全・更新に備えた整備基金の積み立て等が進まず、年間8億円もの事業スクラップが開始されるなど、市の財政運営の先行きと市民サービスの維持拡充に大きな不安を抱かざるをえません。

コロナ禍による市税収の減少、追加のコロナ対策費、増加する新図書館の運営経費などを見込んだ市財政運営の短期の見通しを質しました。

市当局は「コロナの影響で市税収は大幅に減少する見込みだが、普通交付税等の増加で一定程度カバーされる。コロナ対策費は交付金を活用する。布袋駅東複合公共施設の運営経費は、運営方針、方法等を決定していく過程で具体的な試算を行う。現段階では詳細に把握できていない」などの、あいまいな答弁でした。



緊急！老朽化著しい、老人福祉センターと学校給食センターの建て替えができるのか

緊急性があるのに後回しになっている、老人福祉センターや学校給食センターの建て替えの目途を財政面から質しました。当局は「現時点では見通しは困難。財政負担の平準化をはかり、交付税算入のない地方債発行も検討する」との答弁にとどまりました。

●他に、第8期介護保険事業計画の策定、生活困難者支援についても質問しました。

大丈夫か。市民サービスへのしわ寄せ 来年度から年8億円もの事業スクラップ

江南市は来年度以降、すべての事業を対象に、一般財源ベースで、8億円もの事業スクラップ&ビルドの取り組みを始めると発表しました。8月の全員協議会で説明があり、9月定例会では多くの議員が取り上げました。

財政調整基金が急激に減少し、一昨年度以降10億円程度で推移。歳入に比べ投資的（政策的）経費が多く、厳しい財政状況が続いています。そのため、既存事業の大胆なスクラップで、新たな事業（ビルド）の財源を作り、安定した行財政運営基盤を再構築したいとしています。

8億円のスクラップ額の割り当ては、健康福祉や教育、こども未来部など教育福祉関係の部署が半分以上の額を占めており、事業スクラップは市民サービスの切り捨てに直結しかねません。

実施スケジュールは、10月下旬に中間報告。12月下旬の全員協議会で取り組み結果の報告を行うとしています。要注意です。

秋、冬の第3波に備えて、今のうちに新型コロナウイルスの検査センターや療養施設の尾北地区への設置を要望しました。

検査センターや療養施設については県の事業でわからないが陽性者などが自宅待機になった時、要請があれば、食料品や日用品の買い出し、薬の受け取り代行などの生活支援事業を、10月1日から行うとの答弁がありました。

確実にインフルエンザワクチン確保を

今年は昨年使用された量の12%増のワクチンが供給できる見通しがあるという資料を提示し、高齢者への確実な接種と小学2年生以下の子どもへの助成を要望しました。

高齢者へは10月初めから接種のよびかけをしていくこと、高齢者優先なので子どもさんへの助成は考えていないとの残念な答弁でした。

給食センターの建て替えを早く

調理場内の管理基準は25℃以下が望ましいとされているが、現在の給食センターでは7月、9月では25℃以下となる日がなく、過酷な職場であることなどから給食センター建て替えの計画を質しました。今、土地の選定をすすめているとの答弁でした。

安全で学力保障のできる学校を

スクール・サポート・スタッフや委託清掃員の配置について質し、少人数学級実現への要望をしました。9月23日からの各校への配置の見通しと少人数学級については国へ要望していくとの答弁でした。



三輪議員は、8月27日、犬山市の岡議員、扶桑町の荒木議員と江南厚生病院を訪ね事務幹部の方々と懇談しました。

コロナ禍の影響で開業医からの紹介が減ったこと、外来、入院も3割、2割減など厳しい状況。厚生連の協同の力で経営を支えていることがわかりました。

一日30人ほどの発熱外来の患者の中でPCR検査が必要な人の検体を取り、県に運んで調べているとの事。公立病院がない地域で、PCR検査などを医師会、基幹病院、保健所がどういう役割分担をして対応するのが課題でした。